



作家・精神科医
ははきぎ ほうせい さん
舘木 蓬生 さん

カジノ

どことが「世界最高水準のカジノ規制」なのか、安倍晋三首相の言葉はうそばかりです。
週3回の入場制限など、規制がないに等しいものです。私はギャンブル依存症者を多く診てきました。週1回のパチンコや競馬で依存症になった人はたくさんいます。たとえば中央競馬会

すでにギャンブル大国

土日の馬券購入だけで依存症

のレースは土・日ですが、その馬券を毎週買えば十分、依存症になりま
す。
そもそもすでに日本はギャンブル大国なんです。政府にその認識がないのが一番の問題です。
最近の調査でもギャンブル依存症の有病率は成人の3・6%で、諸外国と比べてダントツです。
日本にこんなにギャンブル依存症が多い最大の原因は、パチンコ・スロットです。ギャンブル依存症の8割がこれです。日本は競馬、競輪、宝くじ

などの公営ギャンブルも多く、競馬などはインターネットや電話でも投票できます。こんなにギャンブルにアクセスしやすい国はほかにありません。
現状を放置したままカジノをつくれれば、ギャンブル依存症が増えることは明らかです。この病気はかかりやすいのに、治療は長期にわたる難しい病気です。
政府は「世界最高水準」といいますが、依存症対策のモデルとされるシンガポールなど、多く

の国でギャンブル規制の担当部局があり、総合的な対策を行っています。売り上げの総額規制、広告規制、相談・治療体制づくりが最低限必要とされています。
モナコでカジノを探しましたが、どこにあるのかわかりませんでした。それほど広告が規制されています。
今回の法案にはこうした規制はなに一つありません。カジノ実施法案は廃案にしてカジノ解禁は中止にすべきです。
聞き手・北村隆志記者

チラシの数々↑
新聞折込チラシ
↓ ↓



↑カジノ解禁 大暴走! ? 「実施法強行狙う自公・維新」
赤旗 日曜版 (2018/5/27号より)